

2023年度 講師派遣活動記録

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業		
活動名	市民が出来るごみ減量の関するSDGs行動と市民行動の現状説明		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業

活動の目的
SDGsに取組企業の活動を調べ、海外の取組みを比較し、考察等を加えて校内発表を行うため

交差	
実施内容	
活動日時	2024年1月31日(水) 10:45~12:30
活動場所	浜松市西部清掃工場 環境啓発施設「えこはま」
活動者名	村河善信(工場見学案内)、高根美保
詳細	えこはま発 SDGs活動 ・ごみの意味と浜松市のごみについて ・SDGsとごみ ・環境啓発施設「えこはま」活動・実績の紹介 ・リサイクル行動の説明 ・市民力と協働 ・紙容器リサイクル事業説明 ・使用済ハブリリサイクル事業説明 ・使用済ペリリサイクル事業説明

事業の成果	<p>参加者 静岡県立浜松北高等学校 国際科1年生 5名+外国人留学大学院生1名</p> <p>・小学校4年生時に見学したことを覚えていた参加者もいた。高校生となり、知識や視点が変わった状態で見学したことで、新たな学びがあった。また「刺激を受けた。」との感想を確認した。</p> <p><参加者の感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場のシステムを一通り見学したあと、SDGsについての説明を受けた。ごみ収集車は収集時と収集後で重量を計測しごみの量を記録している。この記録を元に清掃工場の寿命や今後の運営などの方針を決める。ごみ処理の一連の流れはプレゼンなどでまとめるとして、印象的だったのは12時間労働ということ、温水供給だけでなく発電をしているということ、ごみ処理になかなか工夫がされていてとても面白かった。 ・SDGsでやっていることは主にリサイクルについての活動で、どちらかというと「つくる責任 つかう責任」に近い内容だったが、エネルギー収支をもとに環境への影響を説明していてこれもまた興味深かった。あとSDGsの目標の曖昧さを指摘しておりこれもまた検討の余地があると思った。 ・今日は小学4年生ぶりに西部清掃工場にお邪魔させてもらった。工場では工場で使う電気を、ごみを燃やすことで生まれるガスにより蒸気タービンを回し発電機を動かすことで発電し、最盛期なら発電所に電気を売ることができる。さらにトピオの温水プールを温めているのも工場で余分に出た熱エネルギーを利用していると言う。このようにさまざまなSDGsに力を入れている清掃工場に行けたことは今後のためになると思う。
-------	---

事業の課題	<p>・現代の喫緊の課題である SDGs の達成について、インターネット等を利用した調査のみでは知ることのできない情報を得ることができたようですが、その後の参加者がどのように喫緊の問題に対応するのかの答えまでを引き出すことが出来なかった。</p>
-------	---

記録添付

